

はじめに

川崎港という名前を聞いて、みなさんはどのようなイメージをしますか？工場がたくさん立っている、大きい船が通っている、砂浜の公園があるなど、いろいろなイメージがあると思います。

川崎港には化学工業、石油精製、鉄鋼、電機、製紙などの大きな工場がたくさん立地し、様々な製品を各地に送り出すコンテナターミナルなどがあります。また、大小16の運河が通っており、超大型タンカーから小型船までさまざまな船が毎日入港しています。

このように、産業や貿易などにおいて重要な役割を果たしている川崎港ですが、海の中はどのようなようになっているのでしょうか。

この冊子では、普段あまり見る機会のない川崎港の海の中に目を向けてみます。

川崎市では平成27年度から平成30年度にかけて、川崎港の海の中に住む魚や貝などの生きものの調査を行いました。その結果、川崎港の中でいろいろな生きものが見られることがわかりました。

この冊子を通して、川崎港の海の中の様子や住んでいる生きものについて、みなさんに知ってもらい、川崎港についてさらにいろいろなイメージを持っていただけたらと思います。



空から見た川崎港

## 調査の様子

……1

## 調査した場所

……2

## 海の中の様子

……3

## 川崎港で見られた生きもの

……5

## 川崎港の水質

… 25

【豆知識】水質に関するキーワード

……27

【参考】川崎港の水質についてもっと知りたい方へ

……28

